

平成28年度 当初予算案



スポーツと人情が熱いまち

夢への加速予算



▲2020年に向け加速、魅力いっぱい活気あふれるまちへ

平成28年度の江東区当初予算案は、一般会計で1,886億3,800万円と前年度に比べ6.7%増となりました。また、一般会計と特別会計(国民健康保険会計、介護保険会計、後期高齢者医療会計)を合わせた予算総額は、前年度比4.1%増の2,897億4,100万円となっています。平成28年度当初予算は、2月24日から始まった平成28年第1回区議会定例会の審議を経て、決定します(2面に主な事業)。

区民の夢を応援

オリンピック・パラリンピックに向け、ブランディング戦略を通してスポーツと人情が熱いまちをPRするほか、パラリンピック選手応援施策を充実するなど区民を応援し、夢へと加速

平成28年度予算の特徴

平成28年度は、オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みとして「SPORTS&SUPPORTSブランディング推進事業」を開始し、27年度中に策定する「江東区ブランディング戦略」に基づき、区の魅力を国内外に発信していきます。また、JETプログラムを活用した外国籍の国際交流員を任用し、海外組織との調整や地域の国際交流イベント参加等により、本区の国際化をさらに推進していきます。

特にパラリンピックに向けては、障害者スポーツの普及振興に重点的に取り組んでいきます。区内在住の日本代表選手に対し、国際大会への遠征費を補助するほか、カヌー競技では、育成プログラムを強化し、活動を支援します。さらに、(仮称)障害

者スポーツフェスティバルを開催し、区民の気運醸成に努めます。そのほか、区の喫緊の課題である待機児童解消のための認可保育所整備や臨海部での収容対策として小・中学校の整備を進めていきます。

行財政改革の推進

平成28年度当初予算では、特別区税や特別区交付金が増収となりますが、景気動向や税制改正による影響を受けやすい財政構造であるため、中・長期的な視点から先行きを楽観視できる状況ではありません。区では、事業の見直しや再構築、全事業の総点検を推進するほか、職員定員の適正化、区民税等の収納対策の強化など歳入の確保に努め、将来に向け安定的かつ継続的な区民サービスを提供できる財政基盤の確立に努めていきます。

財政課予算担当

☎(3647)1760

積極果敢に施策を展開 安心・快適に生活できるまち



江東区長 山崎孝明

「SPORTS & SUPPORTS KOTO City in TOKYO」スポーツと人情が熱いまち「江東区」これが今年から本格的に本区の魅力を発信するブランドコンセプト

です。2020年東京オリンピック・パラリンピックで数多くの競技会場が配置される江東区は、昨年6月に、ついに人口50万人を突破しました。また本年11月には豊洲市場が開場するなど、本区をめぐる環境は大きく変化しており、ますます活気にあふれ、人が集まる「熱いまち」に変貌を遂げていきます。今回の予算は東京オリンピック・パラリンピックの成功に向

けた着実な準備を行うとともに、さまざまな行政課題に的確に対応するため、「スポーツと人情が熱いまち 夢への加速予算」といたしました。平成28年度当初予算編成にあたっては、区税をはじめとした歳入環境の好転を背景に、本区特有の人口増加を要因とする課題として、有明地区の小学校・中学校整備に着手するほか、引き続き増加する保育需要に対応するため、認可保育所を整備し、1,000人程度の定員を新たに確保します。また、各家庭の

ニーズに応じて、妊娠から子育て期にわたって切れ目なく支援を行う、妊娠出産支援事業を開始するなど、区政各般にわたる積極果敢な施策を展開し、区民の皆さんが安心、快適に生活できる、本区の魅力を十分に引き出した予算案となりました。区民の皆さんの関心と期待の高まる東京オリンピック・パラリンピックの成功はもちろん、その後も見据えた区政運営に、今後も積極的に取り組んでまいります。

に確保します。また、各家庭の

区分	平成28年度	平成27年度	増減率
一般会計	1,886億3,800万円	1,767億6,900万円	6.7%増
国民健康保険会計	622億6,100万円	633億 600万円	1.7%減
介護保険会計	303億8,600万円	300億6,300万円	1.1%増
後期高齢者医療会計	84億5,600万円	81億2,700万円	4.0%増
計	2,897億4,100万円	2,782億6,500万円	4.1%増